

令和5年度

さとうきび増産に向けた取組の実績及び評価

令和7年3月
沖縄県 農林水産部

はじめに

本冊子は、平成27年に見直しを行い策定された「さとうきび増産計画」のもと、各島毎に増産に向けて取り組んだ対策及びその結果をとりまとめ、検証することで、次年度の増産対策、取り組み等へ反映させるために作成しております。

沖縄県におけるさとうきびは、厳しい気象条件下において、比較的安定した生産が可能であり、全耕地面積の約5割を占め、全農業経営体数の約6割が栽培するとともに、とりわけ離島地域においては、製糖を通して雇用機会を確保するなど、農家経済はもとより、地域経済を支える基幹作物となっています。

しかしながら、生産農家の高齢化の進行、担い手不足、都市化の進展、耕作放棄地の増加及び肥培管理等の遅れに加え、病虫害被害や台風・干ばつ等の気象災害の発生等、さとうきびを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このため、ほ場やかんがい施設、防風・防潮林等の生産基盤の整備をはじめ、耕作放棄地の再生利用、農地中間管理事業の活用による担い手への農地の利用集積の加速、機械化一貫作業体系の確立や適期肥培管理の徹底、病虫害防除の早期実施等により、さとうきびの品質及び生産性の向上を図る必要があります。

今後とも、「さとうきび増産計画」及び本冊子でとりまとめた課題、今後の取組方向等に基づき、生産者、製糖企業、JA、市町村等関係機関・団体が連携し、さとうきびの増産に向け取り組みを強化し、生産拡大が図られるよう期待しております。

令和7年3月

沖縄県農林水産部長 前門 尚美

I 令和5年度さとうきび生産実績及び評価（概要）

I 令和5年度さとうきび生産実績及び評価（概要）

1 さとうきび生産実績

沖縄県さとうきび増産プロジェクト会議では、さとうきび生産目標の達成に向け、病虫害防除対策、台風・干ばつ対策、高性能農業機械の導入、担い手育成対策、遊休農地解消対策、農業共済への加入促進、地力増進対策等について、生産者や市町村、JA、製糖工場、普及センター等の関係機関が一体となって取り組んだ。

令和5年産の生産実績は、

- ・収穫面積 13,164ha（前期 13,679ha）
- ・単収 5,046 kg/10a（前期 5,391 kg/10a）
- ・生産量 664,284ト（前期 737,439ト）

であった。

前期に比べて、収穫面積は515ha（3.8%）の減少、単収は345kg/10a（6.4%）の減少、生産量は73,155ト（9.9%）の減少となった。

品質については、平均甘しや糖度14.6度（前期13.8度）であった。

[生育概況]

○ 沖縄地域

本島及び周辺地域において、平年よりも日照時間が増加したものの、生育初期及び生育旺盛期の少雨により、茎長の生育が抑制されたことに加え、8月の台風6号による倒伏や折損、葉片裂傷等の被害が大きく回復が遅れた。また9月から11月の降水量は平年を下回り、生育や収量に影響を及ぼした。大東地域においては、8月を除いて降水量が平年値を下回り、生育の抑制が生じた。

○ 宮古地域

令和5年1月から6月の降水量は3月を除いて平年値を大きく下回る降水量となったことに加え、生育旺盛期及び生育後期においても少雨傾向となった影響もあり、生育の鈍化がみられた。また8月の台風6号による被害は軽微であった。

○ 八重山地域

生育初期から生育旺盛期である令和5年1月から7月の降水量は、3月を除き平年値を下回る降水量となった。特に梅雨明けの7月の降水量は平年降水量の3割に留まり、葉のロールや葉先の枯れが生じるなど、平年と比べ各作型の茎径及び一茎重が減少した。8月の台風6号による被害は軽微であったものの、10月から11月にかけての少雨傾向により、生育停滞がみられた。

【さとうきび生産実績と増産プロジェクト計画(増産計画)】

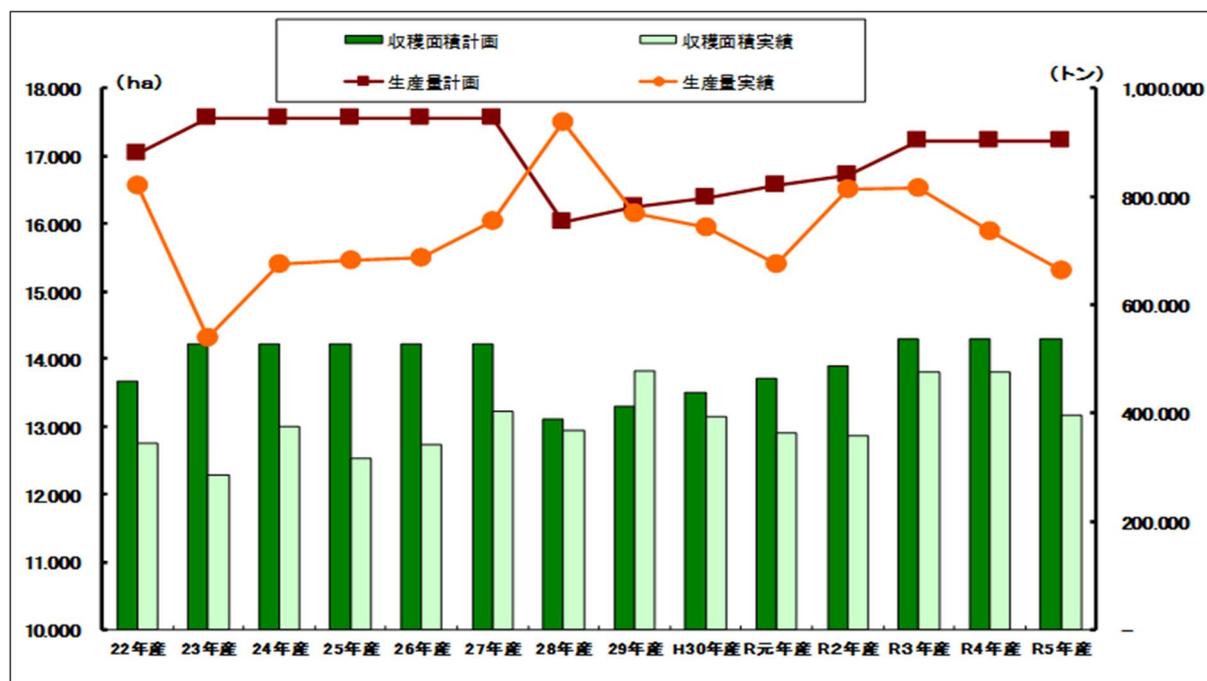
年産	収穫面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)
平成18年産実績 (目標値/達成率)	12,675 (13,330/95.1%)	5,848 (6,155/95.0%)	741,284 (820,460/90.3%)
平成25年産実績 (目標値/達成率)	12,535 (14,235/88.1%)	5,447 (6,642/82.0%)	682,794 (945,500/72.2%)
平成26年産実績 (目標値/達成率)	12,736 (14,235/89.5%)	5,406 (6,642/81.4%)	688,504 (945,500/72.8%)
平成27年度実績 (目標値/達成率)	13,212 (14,235/89.5%)	5,712 (6,642/86.0%)	754,671 (945,500/79.8%)
平成28年産実績 (目標値/達成率)	12,938 (13,100/98.8%)	7,246 (5,800/124.9%)	937,523 (752,000/124.7%)
平成29年産実績 (目標値/達成率)	13,809 (13,300/103.8%)	5,567 (5,900/94.4%)	768,675 (782,000/98.3%)
平成30年産実績 (目標値/達成率)	13,145 (13,500/97.4%)	5,649 (5,900/95.7%)	742,584 (797,000/93.2%)
令和元年産実績 (目標値/達成率)	12,901 (13,700/94.2%)	5,239 (6,000/87.3%)	675,827 (821,000/82.3%)
令和2年産実績 (目標値/達成率)	12,871 (13,900/92.6%)	6,323 (6,000/105.4%)	813,853 (902,000/90.2%)
令和3年産実績 (目標値/達成率)	13,791 (14,300/96.4%)	5,913 (6,300/93.9%)	815,426 (902,000/90.4%)
令和4年産実績 (目標値/達成率)	13,679 (14,300/95.7%)	5,391 (6,300/85.6%)	737,439 (902,000/81.8%)
令和5年産実績 (目標値/達成率)	13,164 (14,300/92.1%)	5,046 (6,300/80.1%)	664,284 (902,000/73.6%)

注1) 平成18年～平成27年までの目標値は「さとうきび増産プロジェクト計画」値

注2) 平成28年以降目標値は「さとうきび増産計画」値

注3) 令和3年産以降の目標値は令和7年度最終目標値

【増プロ計画における生産量と収穫面積の推移】



2 令和5年度さとうきび増産に向けた主な取組

(1) 経営基盤の強化

①経営安定対策（交付金）の対象生産者数

令和5年産については、11,185件の申請がなされている。近年は機械収穫が進展し、令和5年度については全収穫面積のうち88.8%が機械収穫となっている。今後も農業法人等の育成を支援し、機械導入を進める事などにより、生産農家が漏れなく対象となるよう支援していく。

【甘味資源作物生産者要件審査申請書審査結果】(対象生産者数)

	A-1	A-2	A-3	A-4	合計
平成30年産	96	1,426	5,529	5,539	12,590
令和5年産	92	2	5,739	5,352	11,185

注)令和5年産は確定値

②認定農業者の育成

他部門との複合経営農家や後継者との共同経営が見込める農家を中心に認定農業者へ誘導している。

【認定農業者の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
認定農業者(人)	461	440	467	415	409	414	370	314	276
対前年度増減	83	-21	27	-52	-6	5	-44	-56	-38

③農業法人等受託組織の育成

農業法人等を中心とした地域の実態に即した機械化体系に相応しい受託組織の育成を推進している。

【農業法人の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
農業法人(経営体)	157	185	198	207	219	220	228	232	240
対前年度増減	24	28	13	9	12	1	8	4	8

④共済加入の促進

農家個々の被害の実態に応じた共済掛金率の設定や、各地区での説明会の開催等を通して、共済加入を促進している。

併せて、収入保険制度についても、周知を図るとともに加入促進に努めている。

【面積引受率の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
	(28年産)	(29年産)	(30年産)	(31年産)	(2年産)	(3年産)	(4年産)	(5年産)	(6年産)
面積引受率(%)	49.8	51.2	48.4	43.6	41.4	36.7	33.9	31.6	29.5
対前年度増減	1.1	1.4	-2.8	-4.8	-2.2	-4.7	-2.8	-2.3	-2.1

注) R5年産及びR6年産の数値についてはR6.3時点の概算値

(2) 生産基盤の強化

①土地改良

農業生産基盤の整備は、さとうきびの生産性及び品質向上や、農業機械の効率的な稼働を図る上で重要である。特に、干ばつの影響を受けやすい地域においては、かんがい施設の導入・利用を推進している。

【農業農村整備事業(土地基盤整備)の実績】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
	(実績)	(見込)							
ほ場整備率(%)	61.1	61.7	62.3	62.9	63.3	63.8	64.3	68.4	68.7
水源整備率(%)	59.8	62.1	62.4	62.5	62.6	62.6	62.8	65.5	65.5
畑地かんがい整備率(%)	47.7	48.2	48.8	49.1	49.8	50.4	51.0	53.5	53.8

②さとうきび機械化一貫体系による農作業の合理化促進

生産農家の高齢化や収穫作業の省力化に対応するとともに、適期管理の実施により単収向上を図るため、地域の実態に応じたハーベスタ等の高性能農業機械を計画的に導入整備し、機械化一貫体系の確立、農作業の合理化を促進している。

○ 令和5年度導入実績：9地区

- ・宮古島市等におけるハーベスタなどの収穫機械の整備：5地区
- ・南大東村等における栽培管理作業機等の整備：4地区

【機械収穫率[面積]の比較】

	収穫面積	機械収穫面積	機械収穫率	ハーベスタ収穫率
平成17/18年期	12,485ha	4,392ha	35.2%	33.8%
令和5/6年期	13,164ha	11,692ha	88.8%	87.0%

注) 機械収穫：ハーベスタ、刈取機、脱葉機を含む

③「防風林の日」関連行事の開催

安定したさとうきび生産を行うためには、台風等の被害を軽減するための防風・防潮林の整備が不可欠であることから、全県的な取組として毎年

11月の第4木曜日を「防風林の日」に定め、防風林の重要性についてPRするとともに、防災農業の確立に向けて、生産者をはじめ関係機関が一体となって取り組んでいる。

- 啓発広報：ポスター配布、パネル展、等
- 植樹大会開催：令和5年11月17日、うるま市



(参加者による植樹の様子)

(3) 技術対策

①気象災害対策

南北大東を中心に本島内でも点滴チューブによる灌水が行われており、安定生産の一助となっている。一方で、かん水資材等の設置や撤去の労力を要するため、機械を用いた点滴チューブの巻き取りなど、労力低減に向けた取組が行われている。

②病虫害対策

病虫害対策として、発生予察情報に基づいた適期防除を推進するとともに、さとうきび増産基金等を活用した薬剤購入や防除作業委託の助成等、各種対策を実施した。

○ イネヨトウの交信かく乱法による防除

一部地域で発生がみられるイネヨトウの防除の取り組みとして、各地区で対策会議の開催、また、伊平屋村では事業を活用した交信かく乱法による防除を実施した。

さらに、県では低コスト交信かく乱技術によるさとうきびの防除技術の確立を図るための新型フェロモンディスプレイの開発を行い、現在、農薬登録に向けた調整が行われている。

〈交信かく乱法の実施〉

- ・ 沖縄振興特別推進交付金事業〔伊平屋村〕

○ アオドウガネの一斉防除

平成 19 年度から宮古地域において、誘殺灯を活用したアオドウガネの一斉防除を実施している。

- ・ 令和 5 年度可動式誘殺灯設置数：1,800 基（固定式は無し）

【アオドウガネ捕殺数の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
捕殺数(万頭)	317	191	189	307	656	971	1224.4	1,634	1,302
対前年度比(%)	169.5	60.3	99.0	162.4	213.7	148.0	126.1	133.4	97.7

○ 土壌害虫の防除効果等による株出栽培面積の増加

【宮古島市における株出面積の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
株出面積(ha)	2,037	2,627	3,308	3,037	2,874	2,739	3,158	3,703	3,576
対前年増減(ha)	279	590	681	-271	-163	-135	419	545	-127

③ 生産対策

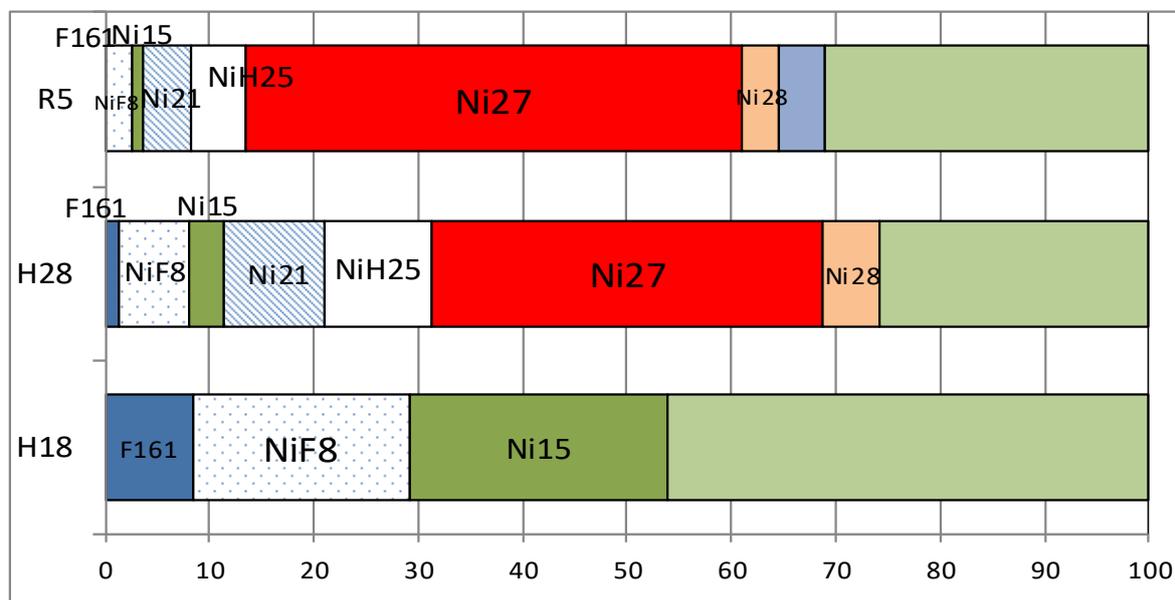
増産に向けた生産対策として、各地域協議会において甘味資源作物生産性向上緊急対策事業等（いわゆる生産対策）を活用し、肥培管理対策、地力増進対策、害虫防除対策等に取り組んだ。

令和4年度(補正予算1次)	
甘味資源作物産地生産体制強化緊急対策事業(さとうきび生産性向上緊急支援事業)	
事業実施主体	主な事業内容
北部地区さとうきび生産振興対策協議会	肥培管理対策(化学肥料購入助成)
中部地区さとうきび生産振興対策協議会	肥培管理対策(除草剤購入助成)、地力増進対策(堆肥購入助成)
南部地区さとうきび生産振興対策協議会	地力増進対策(深耕、心土破砕助成)
伊平屋村さとうきび生産振興対策協議会	地力増進対策(有機質肥料購入助成)、病害虫防除対策(農業費助成)
久米島さとうきび振興協議会	地力増進対策(有機質堆肥、土壌改良剤購入助成)、肥培管理対策(除草剤購入助成)
南大東村さとうきび生産振興対策協議会	病害虫防除対策(ハリガネムシ防除)、機械化の推進(ドローン資格取得支援)
北大東製糖株式会社	地力増進対策(有機肥料、緑肥、堆肥購入助成)
宮古地区さとうきび糖業振興会	地力増進対策(心土破砕、緑肥助成)
北部地区さとうきび生産振興対策協議会	収穫作業に係る雇用経費助成
中部地区さとうきび生産振興対策協議会	収穫作業に係る雇用経費助成
南部地区さとうきび生産振興対策協議会	収穫作業に係る雇用経費助成
久米島さとうきび振興協議会	収穫作業に係る雇用経費助成
宮古地区さとうきび糖業振興会	収穫作業に係る雇用経費助成
令和4年度(補正予算2次)	
甘味資源作物産地生産体制強化緊急対策事業(さとうきび生産性向上緊急支援事業)	
事業実施主体	主な事業内容
南部地区さとうきび生産振興対策協議会	地力増進対策(深耕作業等委託への支援、化学肥料購入への支援)
北大東さとうきび糖業振興会	病害虫防除対策(薬剤購入・散布への支援)
伊平屋村さとうきび生産振興対策協議会	地力増進対策(堆肥購入への支援)、肥培管理対策(除草剤購入への支援・化学肥料への支援・植付け作業への支援)、病害虫防除対策(薬剤購入・散布への支援)
久米島さとうきび振興協議会	地力増進対策(堆肥の投入への支援)
八重山地区さとうきび生産振興協議会	肥培管理対策(化学肥料購入への支援) 自然災害による被害の軽減(かん水作業委託への支援)
宮古地区さとうきび糖業振興会	地力増進対策(深耕・心土破砕作業への支援、バガスほ場投入への支援、土壌改良資材投入への支援)
多良間地区さとうきび生産組合	地力増進対策(堆肥購入への支援)、病害虫防除対策(誘殺灯購入への支援)
宮古地区さとうきび糖業振興会	担い手・作業受託組織の育成・強化(雇用経費への支援)

令和4年度(補正予算3次)	
甘味資源作物産地生産体制強化緊急対策事業(さとうきび生産性向上緊急支援事業)	
事業実施主体	主な事業内容
北部地区さとうきび生産振興対策協議会	肥培管理対策(除草剤購入への助成)
中部地区さとうきび生産振興対策協議会	地力増進対策(土壌改良資材購入助成)、肥培管理対策(除草剤購入助成)等
南部地区さとうきび生産振興対策協議会	地力増進対策(深耕作業等)、肥培管理対策
南大東村さとうきび生産振興対策協議会	病害虫防除対策(薬剤購入・散布助成)
八重山地区さとうきび生産振興協議会	病害虫防除対策(薬剤購入費助成)
伊平屋村さとうきび生産振興対策協議会	病害虫防除対策(薬剤購入費助成)
令和5年度(補正予算1次)	
甘味資源作物産地生産体制強化緊急対策事業(さとうきび生産性向上緊急支援事業)	
事業実施主体	主な事業内容
宮古地区さとうきび糖業振興会	地力増進対策(深耕・心土破碎等作業への助成、緑肥購入助成)
久米島さとうきび振興協議会	地力増進対策(堆肥購入助成、鶏糞購入助成、土壌改良資材助成)、肥培管理対策(除草剤購入助成)
北大東製糖株式会社	地力増進対策(有機堆肥の投入助成、緑肥助成、鶏糞助成)
南大東村さとうきび生産振興対策協議会	担い手・作業受託組織の育成・強化(補修・メンテナンス対策への助成)
中部地区さとうきび生産振興対策協議会	担い手・作業受託組織の育成・強化(補修・メンテナンス対策への助成)
令和5年度(補正予算2次)	
甘味資源作物産地生産体制強化緊急対策事業(さとうきび生産性向上緊急支援事業)	
事業実施主体	主な事業内容
南部地区さとうきび生産振興対策協議会	地力増進対策(土壌診断、深耕・心土破碎)、肥培管理対策
八重山地区さとうきび生産振興協議会	病害虫防除対策(農薬購入費等に係る助成)
宮古地区さとうきび糖業振興会	地力増進対策(心土破碎、緑肥のすき込みによる土壌物理性向上、土壌診断)、肥培管理対策(除草剤購入費の助成)
伊平屋村さとうきび生産振興対策協議会	肥培管理対策(適期植付(ピレットプランター委託)に係る費用の助成)
久米島さとうきび振興協議会	地力増進対策(堆肥、鶏ふん、土壌改良剤の購入に係る費用の助成)
多良間地区さとうきび生産組合	地力増進対策(有機質資材の投入)、病害虫防除対策(アオドウガネ誘殺灯の導入)
南部地区さとうきび生産振興対策協議会	担い手・作業受託組織の育成・強化(補修・メンテナンス対策への助成)
八重山地区さとうきび生産振興協議会	担い手・作業受託組織の育成・強化(補修・メンテナンス対策への助成)
宮古地区さとうきび糖業振興会	担い手・作業受託組織の育成・強化(補修・メンテナンス対策への助成)
北部地区さとうきび生産振興対策協議会	担い手・作業受託組織の育成・強化(補修・メンテナンス対策への助成)
久米島さとうきび振興協議会	担い手・作業受託組織の育成・強化(補修・メンテナンス対策への助成)

④優良種苗の普及・促進

- さとうきび優良種苗の普及・促進のための種苗ほの設置(種苗対策事業)
原苗ほ設置規模：春植 18.54ha(556,200本)、夏植 26.05ha(781,500本)
- 主要品種の推移(県全域) 単位：%



⑤栽培技術の普及等

適期植付や面積拡大及び効果的な技術普及を図るための実演会や講習会等の開催、栽培技術の普及啓発に取り組んでいる。

○ 各地区における実演会や講習会等の開催実績

月	大会名または取組名	主な内容	場所
4	第一回共同防除	イネヨトウの一斉防除	伊江村
	栽培管理講習会	栽培管理、肥料、農薬等	北部地区
5	さとうきび展示圃の設置	春植用優良種苗原原種植付	北部地区
6	夏植推進大会	夏植進捗状況についての講演会	久米島
	かん水講習会	かん水・雑草・熱中症対策講習会、かん水資材実演会	南部地区
7	栽培管理講習会	栽培管理、肥料、農薬等	北部地区
	干ばつ対策会議	干ばつ対策について	多良間村
8	農作散布用ドローン実演会	実演会	八重瀬町
9	さとうきび夏植えピレットプランタ実演会	植付支援、テスト走行	東村
	原苗ほ設置	夏植用品種の原苗ほ設置	南部地区
	さとうきび栽培講習会	栽培技術の普及	中城村
10	夏植え原原種圃場設置	夏植用優良種苗原原種植付	伊是名村
	野ソ駆除剤配布	野ソの被害防止に向けた駆除剤配布	宮古島市
11	三地区さとうきび協議会事務研修会	本島三地区研修会	本島三地区
12	視察研修	E Fポリマー効果実証春植、夏植展示ほ視察	南城市
	オペレータ研修	オペレータ技術向上	糸満市
1	株揃え機実演会	新規受託作業オペレーターに技術指導	うるま市
	さとうきび協議会工場視察	工場視察、展示圃現地検討	北部地区
2	フェロモンチューブ設置	ハリガネムシ更新かく乱防除	南大東村
	栽培技術講習会	栽培技術に関する講習会	伊平屋村
3	さとうきび展示圃設置	肥料試験展示圃設置	名護市

(4) さとうきび増産基金の取組について

取組項目	令和5年度計画		令和5年度実績		国費 令和4年度 実績の構成比
	事業費	うち国費	事業費	うち国費	
自然災害被害対策事業(令和5年度計画・実績)					
病害虫発生時の個別対策					
(1)各種病害虫防除のための薬剤購入費等の助成	498,670,201	302,198,000	480,730,131	289,764,000	50.4%
(2)各種病害虫防除のための作業委託料等の助成	9,950,000	6,030,000	10,205,118	6,184,000	1.1%
干ばつ発生時の個別対策					
(1)干ばつ被害軽減のためのかん水作業委託料等の助成	2,333,326	1,638,000	472,066	285,000	0.0%
(2)干ばつ被害軽減のためのかん水資材購入費等の助成					
台風被害発生時の個別対策					
(1)台風後の植替え及び翌年度の新植に向けた種苗の確保に係る経費					
(2)除塩のためのかん水作業委託料等の助成					
(3)早期生産回復及び次作への影響を減らすための対策	211,186,895	122,246,000	207,327,581	113,947,000	19.8%
低糖度時の個別対策					
(1)低糖度時の対策及び翌年度の栽培に向けた対策に対する助成					
共通対策					
(1)各種被害の早期回復及び次作への影響を減らすための対策					
・堆肥、緑肥、土壌改良資材施用及び土壌分析(土壌診断)等に係る経費	209,670,746	127,060,000	152,585,088	91,382,000	15.9%
・株出等管理作業(深耕・心土破砕、施肥、粒剤散布、除草剤散布を含む)の実施に係る経費の助成	166,436,750	96,019,000	123,087,867	70,101,000	12.2%
・苗の確保(種採は設置、代替苗やセル成形苗の育苗や購入等)に係る経費等の助成					
・かん水作業委託料等の助成	1,650,000	1,000,000	968,000	586,000	0.1%
自然災害等による生産減少の恐れに対する個別対策					
(1)上記の各種対策を複合的に実施					
特認条項					
(1)上記以外の災害等により、一定の条件の場合で、特に対策が必要なものとして協議の上、特に認めるもの					
事務に関する経費(事業実施主体)	3,352,939	3,036,000	3,152,286	2,859,000	0.5%
(合計)	1,103,250,857	659,227,000	978,528,137	575,108,000	100.0%

単位:円